

真庭市広聴広報基本方針

1. 目的

真庭市が誕生して 10 年。経済の流動化、東日本大震災後の安全意識の変化など真庭市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。真庭市自体も、少子高齢化など社会構造が急速に変化する大きな転換期にあり、将来の真庭市に住む「ひと」たちが、豊かな生活を続けていくことができるかは、今の私たちに委ねられています。

このような中、市民の理解と参加を得ながら市政を運営するためには、さまざまな機会を通じて市民の意見やニーズを的確に把握し、市政への反映を図るとともに、市政に関する情報の積極的な発信と説明責任の徹底により、市民との情報の共有化を図ることが不可欠です。新総合計画に描く市民一人ひとりの「真庭ライフスタイル」の実現に向けて、さらには市政への市民参加を推進していくためにも広報広聴活動の重要性を認識し、効果的に取り組むものとします。

2. 基本目標

(1) 市民意見の市政への反映

さまざまな機会を通じて市民の意見やニーズを的確に把握し、市政への反映を図っていきます。

(2) 市民との情報の共有化

市政に関する情報の積極的な発信と説明責任の徹底により、市民との情報の共有化を図っていきます。

3. 取組方針

(1) 広聴力の強化

積極的な広聴事業の推進と市民意見の反映

市民の意見やニーズを的確に把握し市政への反映させるため、さまざまな手法や機会を通じて、広聴活動を実施します。また、市民からの意見や提案を把握することにとどまらず、その趣旨をしっかりと分析・検討を行い、市政へ反映することが重要です。また意見や提案に対する回答として、改善した業務や施策への反映について公表することで、より積極的な参加の促進につなげます。

(2) 広報力の強化

広報媒体の効果的な活用

広報活動は、広報紙・ホームページ・告知放送などの自主的な広報と、新聞・テレビなどの報道機関に情報を提供し、報道していただくパブリシティがあります。各広報媒体の特性を生かしながら、効果的に組み合わせたメディアミックス等による情報提供を行います。また、災害など市民生活に直接影響のある事案については、可能な限り早い段階での情報提供に努めます。

① 広報媒体を活用した積極的な広報活動

広報紙・ホームページ・告知放送などの自主的な広報といった媒体の特性を生かし、市民の利便性の向上と市政情報の発信力の強化を図るために、利用者の立場に立って簡潔でわかりやすい表現に努めます。またホームページの掲載情報については最新の状態で維持管理を行う必要があります。

② シティプロモーションの実施

シティプロモーションとは、地域再生、観光振興、住民協働などさまざまな概念が含まれています。シティプロモーションの捉え方は多々ありますが、市民の愛着度を形成し、地域の認知度向上に取り組んでいく必要があります。

③ パブリシティの積極的な活用

パブリシティは、企業や自治体などが一般に知らせたい情報を新聞、テレビなどの報道機関に提供し、報道してもらうようにする広報活動です。膨大な行政情報を効率よく市民に伝達するためには、パブリシティの特徴である速報性、広域性、客観性、経済性を理解した上で、積極的に活用していく必要があります。また、提供した情報を取り上げてもらうためには内容を整理し、簡潔明瞭に表記して、タイミングよく提供する必要があります。

(3) 広聴広報活動の連携の強化

広聴と広報の効果的な連携

広聴と広報活動は、市政への市民参加を促進するために効果的な連携を図り、市民と行政との信頼関係を構築していくことが大切です。そのためには、会議の議事録やアンケート結果といった広聴に対する市政への反映を積極的に広報していくことが必要です。